
ある男の戦争

スティッチ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ある男の戦争

【Nコード】

N2521C

【作者名】

ステイッチ

【あらすじ】

戦争にまきこまれた男が、息子とともに戦争へ行った。

(前書き)

この小説はフィクションです

25年前、若い男が、ある国で、戦争にまきこまれた。その男は、ブラジル人である。年は、40歳で、妻もいる。子供は、5人の7人家族である。家族仲良く過ごしていたら、家に軍隊の男がやってきた。その男は、用件を聞いた。軍隊の男は、その男に言った。

「もうすこしで、この国と他国が戦争をすることになった。」
男は、

「なぜ、戦争することになった？」

軍隊の男は、
「我が国が、他国に戦争をしかけてしまったのだ。」
と答えた。

男は、
「そんな勝手に言われても困る戦争は、したくない」
と答えた。

軍隊の男は、
「黙れ国からの命令だ今すぐ15歳以上の男をつれて、今すぐこい」と言った。

男は、
「わかった、国の命令なら、仕方がない、準備が終ったら、行く」
軍隊の男は、

「わかったまってる」

と言った。

そして、男は、準備を終えて軍隊の男のもとに行った。

軍隊の男と一緒に、軍隊集合所に行った。

軍隊の男は、

「これから、ここに集まった人達は、生きて帰れるかわからないが、国のため頑張ってくれ」

と言った。

それから、半年、みんなが恐れていた事が起きた。

他国と戦争を開始してしまったのだ。

相手国は、アメリカである。

その後、アメリカ軍がブラジルに攻めてきた。

ブラジルは、空爆にあつて、何人ものひとが、被害にあつた。

アメリカ軍は、かなり攻撃をしてきて、ブラジルの人々は、恐怖でいっぱいになった。

ブラジル軍もかなり、しんでしまった。

夜になり、ブラジル軍は、地下にかくれて、寝ていた。

そして、男が外に様子を見に行った時、アメリカ軍にうたれてしまったのだ。

男が悲鳴をあげた。

その声を聞いたブラジル軍がかけつけてきた。

そこで、撃ち合いが始まった。

なんとかそこにいた、アメリカ軍を殺す事ができた。

アメリカ軍に撃たれた男は、酷いケガをしてしまい、これから、生

きれるかわからないくらい、重症をおってしまった。

男の息子が泣きながら、男の事を心配していた。

男は、

「俺がしんでも、お前は、絶対いきのびろ」と言っつて、男は、目を閉じた。

息子は、ずっと泣いていた。

戦争が始まって、一年後に戦争が、終わった。

ブラジル軍が降伏して、この戦争が終わった。撃たれた男は、二度と目をあける事はなかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2521c/>

ある男の戦争

2010年11月5日07時21分発行